

栗田支援と秋田美大付高

共同制作の様子、作品に

秋田市 完成映像、生徒が観賞

秋田公立美術大学付属高等学院2年生と県立栗田支援学校中学部3年生が共同で制作

した作品を展示し、制作活動の様子を栗田支援の生徒が撮影した映像で紹介する展覧会(術部、デッサンの各グループ



完成した映像を観賞する生徒

に分かれて制作。美大付属高生が作品に取り組む様子や、栗田支援生が美大付属高生のアドバイスを受けながらデッサンや設計図を描く様子を撮影した。映像と写真を組み合わせ、音楽や字幕をつけて映像作品を完成させた。

10日の展覧会では栗田支援生と美大付属高生が映像を観賞した。栗田支援生が映像作品を作る上で工夫した点を紹介すると、美大付属高生は映像の感想を述べた。

展覧会のチラシ作成に関わった栗田支援の佐藤優心さん(15)は「美大付属高校の先輩たちと交流して勉強になった」と話し、美大付属高の浅水春香さん(17)は「栗田の皆さんのアイデアを作品に生かすようにした」と語った。

映像編集の段階からアドバイスするなどして関わってきた跡見学園女子大学教授の茂木一司さん、美術家の住中浩史さん、ワークシヨップデザイナーの竹丸草子さんもオンラインで参加し、完成した映像について講評した。

(富樫幸恵)